

学習課題（小学校3年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

＜勉強すること＞

◆「こそあど言葉を使いこなそう」（教科書 88 ページ）を学習します。ここでは、何かを指ししめす言葉のはたらきについて学びます。

「この・その・あの・どの」や「これ・それ・あれ・どれ」などの言葉をまとめて、こそあど言葉といいます。

①教科書 88 ページの表から、「こそあど言葉」をどのように使い分けているか読んだあと、表をノートや取組シートに書きうつしましょう。

②教科書 89 ページの①に取り組めます。ノートや取組シートに問題文を書きます。こそあど言葉に線を引き、それが何を指しているのかを書きましょう。

《書き方の例》
私は、おばあさんから赤いぼうしをもらった。次の日、わたしはそれをかぶって、出かけた。

◆90 ページ「引用するとき」を学習します。

他の人の言葉を、自分の文章や話の中で使うことを、引用といいます。

①引用する時には、きまりがあります。教科書 90 ページの①～③を読み、ノートや取組シートに引用のきまりを書きうつしましょう。

②91 ページを読んで、「正しく引用するときの書きとめ方」と、「人から聞いたことを引用するときの書き方」について、大事だと思ったことをノートや取組シートにまとめましょう。

③91 ページ下のだん 8 行目～11 行目のかだいに取り組みます。下の例をさんこうに、ノートや取組シートにしょうかい文を書きましょう。

引用の仕方の例

「こまを楽しむ」を読んで、わたしは、（えらんだこまの名前）にきょうみを持ちました。（えらんだこまの名前）の遊び方は、「（遊び方を書きぬく）」です。
＜使った本＞ 安藤正樹「こまを楽しむ」、〇ページ、光村図書、国語三上、2020 年

◆111 ページで学習するかん字（植～都まで）をノートに練習します。

例：①156 ページを見て、書きじゅんを指で書いてみましょう。

②読み方・使い方を声に出して、言ってみましょう。

③出てきた漢字をつかって、文を作りましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・こそあど言葉を使い分ける際には、自分に近いか、相手に近いかなど、その物との距離で使う言葉が決まることを理解することが大切です。ご家庭にある物などを使って、「話し手に近いから『これ』だね。」などやりとりをしてみると効果的です。